俺はご先祖さま（1981～1982）

メディア	TV
ジャンル	ＳＦ　コメディ
製作国	日本
色彩	Color
TV放映	1981/12/06 ～ 1982/03/14 日曜日 20:00～20:54 日本テレビ

【解説】

白石伴吉は作家デビューを夢見るしがないカメラマン。編集部ではどやされるけれど写真は採用されているし、下宿のオバサンは口やかましいが悪い人じゃないし、割と美人の恋人ともマア何とかうまくいっている。取り立てて輝いているわけではないが、別に不幸なわけでもない、平凡な男である。ところがある日、彼を「おじいちゃま」と呼ぶ若い娘が転がり込んできた。彼女はミミ、未来からタイムマシンでやってきたのだ！

『気まぐれ天使』等の楽しく夢のあるドラマを描いてきたベテラン松木ひろしが、満を持して放ったＳＦドラマ。藤子不二雄マンガを思わせる設定で、当初は世間知らず（というより現代知らず）のミミが巻き起こす騒動を中心としたコメディ色が強かった。またミミの着ている未来のコスチュームは、オールヌードの上にグレーの柔らかいボディスーツという代物。ミミ役で女優デビューしたマリアンは、もともとメアリー岩本という名で資生堂のキャンペーンガールを務めていた美形であり、テレビの前の男性陣は未来人ミミにことごとく悩殺された。

そんな本作だが、伴吉が未来人の知識を利用して作家デビューを果たすあたりから、異なった様相を呈してくる。伴吉は鈍感で優柔不断でそのくせ小狡いところもある。つまり我々現代人の典型なのだが、そんな彼をミミは本気で愛してしまうのだ。無邪気なミミは、伴吉のためなら未来社会で犯罪にあたることまで厭わなくなってしまう。テレビを観ている我々は伴吉の自分勝手な行動を苦々しく感じながらも、糾弾する資格の無いことに気づく。そして愛のために行動するミミを前に、自分たちが胸を張って子孫に残せる何を持っているのか、自問せずにはいられないのだ。物語は、伴吉の花嫁は誰なのか、という謎と共にクライマックスを迎えていく。そしてミミは我々現代人の心の奥に、何か大切なものを残していく。果たして我々は立派なご先祖さまなのだろうか。

伴吉役は特撮ファンにはお馴染みの石坂浩二が扮しており、その恋人にはデビュー当時“浅丘ルリ子に似ている”と評判だったあべ静江が配役されている。特撮はクロマキー程度だが、最終回に登場した未来人が『仮面ライダースーパー１』のベルトをしていたことは見逃せないポイント。全１３回。

【クレジット】

演出	松木ひろし	
	松下紳	
	橋本信也	
	佐光千尋	
プロデューサー	逸見稔	
	岡田裕介	
	佐光千尋	
原案	松木ひろし	
脚本	松木ひろし	
音楽	大野雄二	
出演	マリアン	ミミ（未来人ＳＡＰ３３３号）

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.

石坂浩二	白石伴吉	
井上順	飛沢秀俊	
ヘレン笹野 Helen Sasano	ミヨ	
津村隆	ポリスロボット	
あべ静江		
浅野ゆう子		
佐藤浩市		
三浦洋一		
根岸季衣		
松山英太郎		
長谷川季子		
牟田悌三		
賀原夏子		
藤岡琢也		
左とん平		
奈良富士子		
山城新伍		（特別出演）

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.